新型コロナウイルス感染症予防対策／衛生管理マニュアル

令和4年5月改定

筑波大学附属視覚特別支援学校　健康安全係

🔶消毒液保管場所

※保健室保管：アルコール消毒液・ハンドソープ（原液）

※教室内設置：ハンドソープ（500mlポンプ）　アルコール消毒液（1000ml）　ペーパータオル(消毒用)

🔶一日の行動マニュアル

教員

登校後

①健康観察　健康観察表をまとめて保健室に提出

＊自覚症状、他覚症状（別記の保健室資料参照）

授業中（授業担当）

①換気　廊下側片側開戸・窓側10ｃｍ程度開窓

②原則としてマスク着用で授業を行う

各授業後（授業担当）

①消毒 (アルコール消毒液を使用)

　■ドア取手（その周辺）■教卓■生徒が触れた物品等

②換気

　廊下側扉、窓を一度全開にして3分程度換気を行う

③健康確認

　生徒への声掛け確認を行う

昼休み

①換気

　廊下側扉、窓を全開にして換気を行う

②健康観察

　HＲで体調の変化を観察する

放課後

①体調確認

　観察、声掛け等で体調確認を行う

下校後

①消毒（アルコール）・・・主に共用部分

　■ドア取手(その周辺)■水道蛇口■教卓■ロッカー■スイッチ（エアコン・照明電源）■生徒の机、椅子

②ごみ捨て　ゴミ箱2/3程度を目安にごみ捨てを行う

生徒

登校後

①手指消毒（手洗いの手順に沿って）

②給水

授業中（授業担当）

①マスク着用

　原則マスク着用を推奨するが、生徒の体調により判断する

　※発言時、咳症状のある場合は必ずマスクを着用する

各授業後（授業担当）

①マスク着用

　近距離会話時、咳症状のある場合

②手指消毒（手洗い手順に沿って）

③密を避ける

④給水

昼休み

①手指消毒（手洗いの手順に沿って）

②給水

放課後

①体調確認(セルフチェック）

　体調の変化があれば担任、保健室に相談する

下校後

外出の際は感染対策(マスク、手洗い、密を避けるなど）を忘れずに。

生活習慣を整えて明日に備えよう！

（食事・運動・睡眠・ストレスをためない）

🔶共用部分の消毒

【清掃員の方の担当】　日中（10:00～15:00）

　■トイレ内ドア　■階段手摺　■校舎入口　■自販機

【保健室の担当】 放課後（16:10～）

　■校内巡回時に共用部分を消毒する

【体育科】

　■入口　■更衣室など

注）他学部で体育館を使用する場合は、当該学部で指定箇所の消毒を行う。

🔶衛生用品の補充

アルコール、ハンドソープ、ペーパータオルは

必要に応じて随時保健室にもらいに行く

マスクは職員室へ。

※衛生用品補充は、各部科で担当を決めて対応してください！

【消毒液特徴】

①アルコール（エタノール）

・アルコールはウイルスの「膜」を壊すことで無毒化するものです

・インフルエンザウイルス、コロナウイルスに効果が強い

・石鹸手洗いとの二重使用で殺菌効果が倍増する

正しい手洗いの順番（写真）は省略

【生徒の自覚症状・他覚症状】

★外見からわかる項目（他覚的症状）

　☑顔色が悪い、☑元気がない、☑眠そう、☑だるそう、☑咳をしている、☑鼻水、☑鼻づまり、☑いつもと違った様子　など

★本人の訴えによる項目（自覚的症状）

　☑頭痛、☑腹痛、☑発熱、☑気持ち悪い、☑眠い、☑のどが痛い、☑吐気、☑下痢　など

【保健室での対応】

★保健室のドアは常時、開いたままになっています。

・付き添いの先生（または生徒）は、中に入らず入口で症状を教えて下さい。

・怪我の場合は保健室で処置しますが、体調不良の場合は265で対応します。

【冷水器】

★直接飲まないようにする

【消毒のやり方】

★生徒の手指消毒

基本は手洗い・顔をいじらない

手洗いの６つのタイミング

・外出後 ・咳やくしゃみ、鼻をかんだ時

・掃除後 ・トイレの後 ・食事の前後

・共有物を触る前後

★手洗い順序（必須）

step1　流水で手全体を濡らす

step2　ハンドソープで良く泡立てる

step3　イラスト(下図)の個所を良く洗う

step4　流水でしっかり流す

step5　きれいなハンカチで拭く

step6　アルコールを片手にワンプッシュして両手全体に馴染ませる

注）アルコールが使用できない生徒がいたらノンアル除菌シートを使います。

注）基本はきちんと手洗いを行う事です。消毒液に頼るのではなくしっかりと

　　手洗いすることでウイルスを洗い流すことができます。

★環境消毒

アルコール消毒液を用いた消毒（各教室の共用部分や共用物）

・アルコールスプレーボトルからアルコールをペーパータオルに吹き付けて所定の場所を拭く。

　注）火気の近くでは使用しないようにしましょう。

　注）詰め替えを行う場所では換気をしましょう。

　注）保管場所は直射日光が当たる場所を避けましょう。

★熱中症の危険性（水筒を準備しよう！）

高温多湿の時期に加えて、マスクを装着するため「熱中症のリスク」が高まる

危険性が指摘されています。生徒の体調変化を”熱中症”の観点でも注意して

下さい。※マスクにより口内が多湿となり、喉の渇きが感じにくくなります。

こまめな水分摂取を促してください。

【熱中症初期症状】立ちくらみ・顔のほてり・けいれん・倦怠感・吐気etc.

＊このマニュアルは、感染防止対策を見直していく中で、今後、変更される可能性があります。